

2 美術館とつくる学び

実物の作品との出会いによって、多様な表現を寛容に受け止める素地がはぐくまれます。出会いを生かした学びを一緒に作ります。ぜひ、ご相談ください。

美術館で

鑑賞の授業

対話型鑑賞で絵をより詳しく、じっくりと見てイメージすることや発見を楽しむことができます。全体では鑑賞のミニレッスンだけにして、各自で見る時間を多くすることもできます。



学芸員による展示解説

絵の背景や作家について解説を聞くことができます。

学校で

- アートカードを使った鑑賞の授業
- 展示作品の図版データを使って行う来館事前学習
- 作家と実物作品とともに美術館職員が学校に出向いて行う出前授業



アートカード

ジュニアガイド

グループごとに自由に見学するときに活用いただけます。

川越市立美術館
〒350-0053 川越市郭町2-30-1
電話 049-228-8080 FAX 049-228-7870
e-mail bijutsu@city.kawagoe.saitama.jp
ホームページ <https://www.city.kawagoe.saitama.jp/artmuseum/>



作品と出会う、対話が生まれる

川越市立美術館

川越市立美術館は「交流」をテーマに、川越にゆかりのある作家をはじめとする日本画、洋画等を約2,000点収蔵。橋本雅邦、小茂田青樹、小村雪岱の日本画のほか、洋画家・相原求一郎や岩崎勝平の作品他を展示している美術館です。毎年、市内の小学校6年生を対象に、実物作品の迫力を体感する鑑賞の授業、対話型鑑賞をベースとした鑑賞プログラムなどを行っています。学校の鑑賞の授業として、校外学習の1場面として、学習指導要領に沿った授業づくりを支援しています。

アートカードにもなっている
相原求一郎の「斜里浅春」



1 施設案内

相原求一郎 作品の展示室

相原求一郎は、川越市出身の洋画家です。「風景画」という枠を超え、自然を対象としながらも人間の心情とつながる詩情が魅力です。



1階

川越ゆかりの作家をはじめ多様な作品に出会える展示室



地下1階